

コンピュータチェック事例コード

48SJ400184003 その他 2事例グループ化

コンピュータチェック内容

受付回及び処方月日が同一の処方行に対して、同一剤形の同一有効成分（ケトプロフェン、ヘパリン類似物質又は尿素）のみで外用薬薬剤調製料がそれぞれ算定された場合にチェックを実施。

コンピュータチェック根拠

外用薬の薬剤調製料は、投与日数にかかわらず、1 調剤につき算定するとされ、同一有効成分で同一剤形の外用薬が複数ある場合には、その数にかかわらず、1 調剤として取り扱われるとされています。

グラフの見方

1 棒グラフ(該当レセプトの審査結果)

コンピュータチェックの対象となる診療行為(医薬品、特定器材)のうち、いずれかを算定している
目視対象レセプト1万件当たり、当該コンピュータチェックの内容に該当したレセプト件数

2 折れ線グラフ(該当レセプトの査定・返戻割合)

コンピュータチェックの対象となった項目が
査定・返戻となった割合

【棒グラフ凡例】 審査の結果

査定	返戻	: 設定根拠どおり
請求どおり 職員	請求どおり 審査委員	: 検証が必要

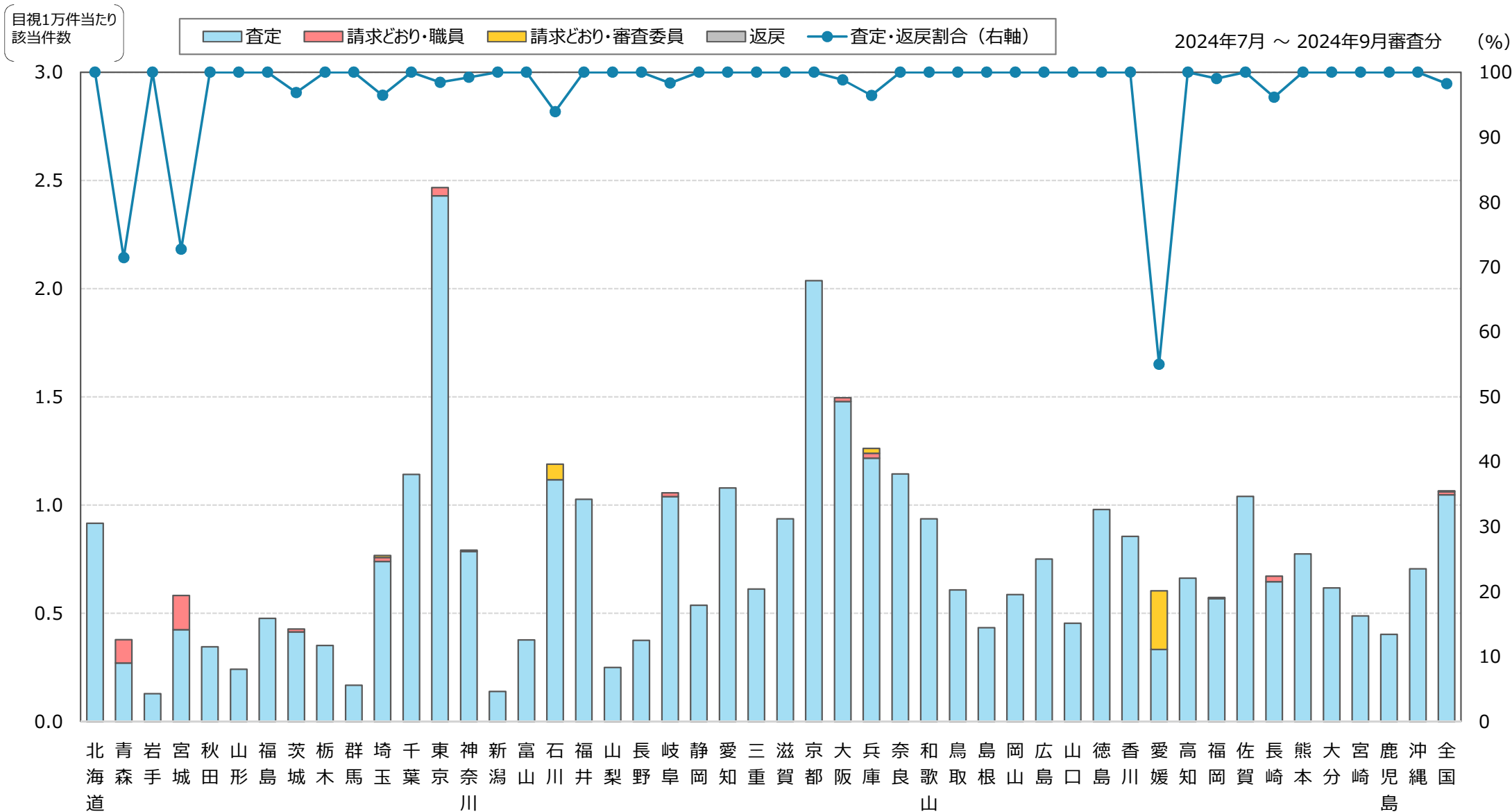
審査結果の概要

➤ 全国の査定・返戻割合 98.25%

➤ 検証対象都道府県 3

検証観点	都道府県	備考
査定・返戻割合が低い	愛媛、青森、宮城	査定・返戻割合の低い順
請求どおり・職員	宮城、青森	対象1万件当たり件数の多い順
請求どおり・審査委員	愛媛	//

該当件数(全国)	当該コンピュータチェックの内容に該当	4,162件
設定根拠どおりの審査	査定・返戻の計	4,089件
検証を必要とする審査	請求どおり	73件



【該当件数】当該コンピュータチェックの内容に該当したレセプト件数